予防医療入門

責任者・コーディネーター		地域医療薬学分野	高橋	寛 教授		
担当講座・学科(分)野)	地域医療薬学分野				
対象学年		2~4				
期間前期		区分・時間数	講義	6 時間		
単位 数		0.5 単位				

· 学習方針 (講義概要等)

病気になることを予防したり、病気の原因を取り除く一次予防や二次予防にも薬剤師は関わることができる。医薬品が関係する事例として予防接種や予防的内服があり、治療だけでなく予防にも医薬品が使用されている。海外の薬局薬剤師は予防接種に関わっており、薬剤師は今後予防医療に積極的に関わることが求められるため、予防医療に関する基本的知識を学修する。

・教育成果(アウトカム)

予防医療の知識を学習することで、地域住民の健康支援として情報提供ができるようになり、予防 医療の重要性を認識し、セルフメディケーション支援を含め、国民の健康維持に貢献できるようにな る。 (ディプロマ・ポリシー: 1,2,3,4,9)

·到達目標(SBO)

- 1. 社会における遠隔医療の必要性と意義について説明できる。 (☆)
- 2. 人生 100 年時代における健康寿命延伸の意義について説明できる。 (☆)
- 3. 一次予防、二次予防、三次予防で行われている予防医療の実践例を列挙できる。 (☆)
- 4. 健康維持におけるサプリメント摂取や栄養補助食品摂取の有用性について説明できる。 (☆)
- 5. 予防医療に利用されている医薬品の特徴を説明できる。 (☆)
- 6. スクリーニングで行われている検査を 10 項目列挙できる。 (☆)
- 7. コンパニオン診断薬の機序ついて説明できる。 (☆)
- 8. 予防接種と薬剤師の役割について討議する。 (☆)
- 9. 臨床で予防的投与に使用される医薬品の使い方の特徴を説明できる。 (☆)
- 10. 予防医療における薬剤師の役割について討議する。(☆)

·講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
6/8	月	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 岡崎 光洋薬剤師	社会の変化と予防医療の必要性 人生 100 年時代の中で、国民の健康支援のためにどのようなしくみが必要で、健康寿命を延伸する意義を説明できるようになる。

					1. 社会における遠隔医療の必要性と意義について説明できる。 (☆) 2. 人生 100 年時代における健康寿命延伸の意義について説明できる。 (☆) 【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】事前学習:事前に課題を moodle 上に出すので、それについて調べ、400 文字程度でまとめてきてください。事後学習:授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを提出してください。
6/15	月	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 岡崎 光洋薬剤師	発生予防(一次予防)と健康維持 未病養補助食品の摂取がどのに、がどのできる。 1. 一次予防、三次予防でできる。 1. 一次予防、三次予防でででででででででででででででででででででででででででででででででででで
6/22	月	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 岡崎 光洋薬剤師	予防医療(2次予防)と健康維持 健診などスクリーニングで行われている検査について説明できるようになる。 1. スクリーニングで行われている検査を10項目列挙できる。(☆) 2. コンパニオン診断薬の機序ついて説明できる。(☆) 3. 予防接種と薬剤師の役割について討議する。(☆) 【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学習:事前に課題をmoodle上に出すので、それについて調べ、400文字程度でまとめてきてください。

					事後学習:授業で学んだ内容をまとめ 感想とともにレポートを提出してくだ さい。
					予防医療の実践と薬剤師の役割 臨床で実際に使われている予防的投与 事例をもとに、薬剤師の役割を説明で きるようになる。
6/29	月	5	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授 岡崎 光洋薬剤師	1. 臨床で予防的投与に使用される医薬 品の使い方の特徴を説明できる。(☆)
					2. 予防医療における薬剤師の役割につ いて討議する。(☆)
					【対話・議論型授業】【ICT(moodle)】 事前学習:事前に課題を moodle 上に 出すので、それについて調べ、400 文 字程度でまとめてきてください。 事後学習:授業で学んだ内容をまとめ 感想とともにレポートを提出してくだ さい。

· 教科書·参考書等(教: 教科書 参: 参考書 推: 推薦図書)

		書籍名		著者名	発行所	発行年
:	参	予防医療のすべて	岡田唯男	ほか	中山書店	2018

・成績評価方法

毎回、レポート提出を行う。(合計4回)レポート(40%)、定期試験(60%)から総合的に評価を行う。

・特記事項・その他

事前学習・事後学習のポイント

事前学習については、事前に moodle 上に課題を提示しますので、事前課題としてレポート用紙等に 400 文字程度でまとめてきてください。毎回 30 分程度要します。

事後学習については、授業で学んだ内容をまとめ感想とともにレポートを作成し提出してください。毎回30分程度要します。定期試験前には、4時間程度の総復習の時間を確保する必要があります。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン(パナソニック CF-NX3)	1	スライド投影のため
講義	パソコン(Microsoft Surface Laptop Model1769)	1	スライド投影のため